

日本労働年鑑 第54集 1984年版
The Labour Year Book of Japan 1984

第二部 労働運動

XII 政治的大衆行動と平和運動

5 反軍・反基地闘争

富士山麓総行動

八二年一月八日から一九日にかけて予定されていた陸上自衛隊と在日米陸軍との実動演習に抗議して、一〇月二、三日の両日、平和委員会、安保破棄・諸要求貫徹中央実行委員会、原水協、静岡県実行委員会の主催で、「第四回富士山麓総行動」が展開された。一日目の一〇月二日午後四時から、労働金庫研修富士センターで、討論交流集会が開催され約一〇〇人が参加。二日目の一〇月三日、朝から東富士基地調査がおこなわれ、午後からは滝ヶ原米軍、自衛隊基地前をデモ行進。全国から約一五〇〇人が参加した。このあと午後二時すぎから、御殿場市民会館で「平和と文化のつどい」がもたれ、「富士山麓総行動平和と文化のつどいアピール」を採択して閉会した。

小松基地の日米合同軍事演習反対・石川県集会

一〇月三日、午後一時から、社会党石川県本部、共産党石川県委員会、石川県評、石川県平和委員会、基地反対県民の会、小松基地反対連絡会議の六団体の主催で、航空自衛隊小松基地と同輪島レーダー基地の日米共同使用、日米共同演習に反対して、「小松基地の日米合同軍事演習反対、安保条約廃棄、軍事大国化阻止、一〇・三石川県集会」が開催された。小松市末広運動公園でひらかれたこの集会には、約七〇〇〇人が参加。集会後、市内をデモ行進した。

なお、平和委員会などを中心とする平和行動推進委員会は、この集会を間にはさむ一〇月二～四日に「〃日本海を平和の海に〃日米共同演習阻止小松基地平和行動」を設定し、二日は活動者会議、三日は県集会に先立って小松市公会堂で講演会（約三〇〇人参加）、四日は小松基地の調査・監視という日程で、さまざまな活動にとりくんだ。

日米共同実動演習反対全国集会

十一月一〇日から一八日にかけて、一九日間にわたって展開された日米両陸上部隊による実動演習に反対して、十一月一四日、御殿場市東富士ダムにおいて、「日米共同実動演習反対全国集会」が開催され、地元の東富士農民再建連盟はじめ全国の反基地住民団体、労組などから約四五〇〇人が参加した。集会では、主催者を代表して隈元総評国民運動局長があいさつ。社会党、護憲連合、各県評代表も決意表明をおこなった。参加者は集会終了後基地前でデモ行進。滝ヶ原駐屯地にたいして演習の即時中止を申し入れた。

日米実動陸上演習反対・東富士行動

十一月一五～一八日、日本平和委員会、明るい日本をめざす中央青年学生連絡会議、安保破棄・諸要求貫徹中央実行委員会、原水協、富士山麓総行動静岡県実行委員会の五団体の主催で、「日米実動陸上演習反対・安保条約廃棄東富士行動」が東富士演習場周辺でとりくまれた。十一月

一五日には、一五都道府県の代表約一〇〇〇人が参加して集会がひらかれ、参加者は米軍・自衛隊基地の前をデモ行進。その後の総行動には、連日数百人がとりくんだ。

F16三沢配備反対・青森県集会

一月二三日、三沢市立体育館において、「F16三沢配備反対・安保条約廃棄を求める一・二三青森県集会」が開催された。社会党・共産党・県労会議・県平和委員会の四団体で構成された実行委員会が主催したこの統一集会には、約二六〇〇人が参加。佐川礼三郎県労会議議長の開会宣言、議長団選出、四団体代表の決意表明、集会決議やアピール採択ののち、参加者は市内をデモ行進した。

核艦船の入港・母港化反対佐世保集会

八三年二月二〇日、米第七艦隊の原子力空母エンタープライズ佐世保入港を前に原水協、平和委員会、安保破棄・諸要求貫徹中央実行委員会、佐世保行動長崎県実行委員会は、佐世保市松浦公園で「日本列島〃不沈空母〃化許すな！ 核艦船の入港・母港化反対佐世保集会」を開催。全国から約一〇〇〇人が参加した。集会では、吉田嘉清原水協副理事長らがあいさつ。アピールを採択後、佐世保駅までデモ行進をした。

エンタープライズ寄港抗議行動

三月二日、原子力空母エンタープライズは一五年ぶりに長崎県・佐世保港に入港・停泊した。この寄港にたいして、社会党系の「反安保・反核・エンタープライズ寄港阻止現地闘争本部」や共産党、過激派などの小船二十数隻が反対の海上デモをおこなった。

午後一時から市内・松浦公園で、エンタープライズ阻止長崎県共闘会議と総評、社会党、原水禁、護憲連合などの共催でひらかれた「反安保・反核・エンタープライズ寄港阻止西日本大集会」には、西日本を中心に全国から一万人が参加。田口県共闘会議議長、飛鳥田社会党委員長、吉岡総評副議長などのあいさつののち、「佐世保からのアピール」を採択し市内をデモ行進した。

他方、平和委員会、原水協など五団体は、三月二〇～二六日を全国行動週間に設定し、エンタープライズ寄港への抗議集会、基地行動、宣伝行動などを展開した。現地佐世保では二〇日に学習交流会、二日に海上デモと抗議集会がとりくまれ、浦頭ふ頭での集会には約一〇〇〇人が参加。市役所―佐世保駅間をデモ行進した。

日本労働年鑑 第54集 1984年版

発行 1983年11月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 ●

2001年8月28日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1984年版(第54集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
